

# 後戻りできない「環境問題」

……われわれはこのかけがえない地球をどのように次世代へ手渡すのか？

社会・人間・心理・倫理・自然・開発・ポスト近代にふさわしい新しい知の創生などなど、多様な論考から地球社会の進むべき方向を探る！

# 自然といのちの尊さについて考える

## エコ・フィロソフィとサステイナビリティ学の展開

監修

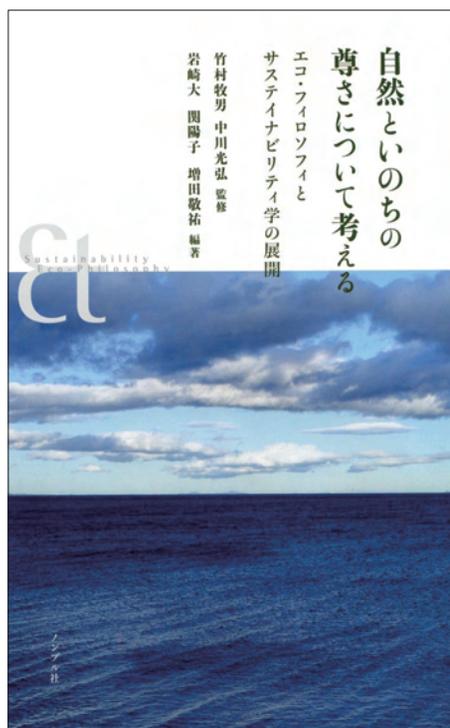
竹村牧男〈東洋大学学長〉◎仏教学

中川光弘〈茨城大学教授〉◎農業経済学

編著 岩崎 大◎哲学・死生学

関 陽子◎環境哲学

増田敬祐◎環境倫理学



A5 判変型・上製・496頁 定価4,104円(税込)  
ISBN978-4-903470-84-9 C0010 ¥3800E

好評既刊 竹村牧男・中川光弘 共編

# サステイナビリティと

# エコ・フィロソフィ

西洋と東洋の対話から



A5 判変型・上製・312頁  
定価2,592円(税込)  
ISBN978-4-903470-45-0  
C0010 ¥2400E

持続可能な地球社会のための論考集

FAXでもご注文いただけます→03・3203・2156

ご氏名	〒	お電話番号	( )
ご住所			

自然といのちの尊さについて考える

ご注文部数 冊

サステイナビリティとエコ・フィロソフィ

ご注文部数 冊

弊社に直接ご注文をいただいた場合→送料無料、2部以上お求めの場合は、1割引とさせていただきます

# 自然といのちの尊さについて考える contents

## 第1部 総論

### いのちの深みへ——仏教の立場から

竹村 牧男

1 序・体罰といのち / 1 唯識思想の人間観 / 2 いのちを益するもの / 3 仏となつたいのち / 4 いのちの根源としての仏の智慧 / 5 他者のいのちと自己のいのちの関係 / 6 重重無尽の関係性の中で / 結

### 二つの世界観の適用誤謬について

中川 光弘

1 はじめに / 2 二つの世界観 / 3 機械論的世界観の適用誤謬とその是正の試み (1)近代農法と有機農業、自然農法 (2)現代医療と東洋医学 / 4 二つの世界観の統合化の試み / 5 仏教の世界観 / 6 おわりに

## 第2部 自然といのちを考える ——哲学、心理学、倫理学から

### 〈いのち〉の三契機と〈尊さ〉への倫理的視点

亀山 純生

はじめに / 1 〈いのち〉を浮上させる問題状況と〈いのち〉の意味限定の視角 / 2 全体概念としての〈いのち〉の意味の暫定的限定 / 3 〈いのち〉の倫理的性格——〈生命〉と〈いのち〉、〈私〉と〈いのち〉 / 4 〈私〉のいのちの三契機とその倫理的性格 / 5 〈いのち〉を〈尊ぶ〉

### 〈生活世界〉の構造転換——“生”の三契機としての〈生存〉

### 〈存在〉〈継承〉の概念とその現代的位相をめぐる人間学的一試論

上 柁 崇 英

1 はじめに / 2 “生”の三契機としての〈生存〉〈存在〉〈継承〉について (1)人間存在における〈生活〉の概念と、その伝統的理解 (2)“生”の三契機の定義とその“内的連関” (3)“生”の三契機と〈生活世界〉の概念 / 3 〈生活世界〉の構造転換 (1)「生の三契機」の現代的位相 (2)〈生活世界〉の構造転換 (3)現代社会の比喩としての「ぶら下がり社会」 / 4 新たな人間学の地平のために——「〈倫理〉の中抜け現象」から考える (1)「構造転換」に見られる「中抜け現象」——特に〈継承〉と“学校”、コミュニケーションと「情報システム」の視座から (2)〈倫理〉の三層構造と〈倫理〉の「中抜け現象」 (3)結びにかえて

### 生命と倫理の基盤——自然といのちを涵養する環境の倫理

増田 敬 祐

1 私たちはどのような時代を生きているのか / 2 自然といのちの再発見 / 3 〈人間の共同〉に関する根本問題 (1)公私二元論の問題 (2)市民社会論の限界 (3)むき出しの個人の誕生 (4)両面的乗り越え論の課題 / 4 環境倫理学におけるローカルな場所への注目 / 5 〈経験的自発性〉とその核心的契機としての〈インボランタリー性〉 / 6 人間存在を動揺させない社会を築くこと

### アルバート・エリス博士から学ぶ——寛容について考える

菅 沼 憲 治

1 カウンセラーの経歴 / 2 基本的懸念 / 3 スーパーヴィジョン / 4 REBT カウンセリングの事例 1、事例・2、考察 / 5 コンテントとプロセス / 6 耐性の受容

### 自然観と死生観をつなぐ——終末期患者の視線から

岩 崎 大

1 断絶する自然といのち / 2 見える問題と見えない問題 / 3 いのちの現場にある風景 / 4 臨床でつながる自然といのち / 5 結語

## 第3部 新しい知の創生へ ——自然と人間のかかわりのために

### 自然といのちの尊さの根拠——宇宙的ヒエラルキーとバランス

岡 野 守 也

根拠を問うこと / 普遍的な根拠は見いださるか / 価値づけとヒエラルキー / 自己組織化—自己複雑化—階層構造化する宇宙

### 自然と人間のかかわり

榎 根 勇

1 万物は生成・進化する / 2 新しい哲学について (1)ウィルバーの万物の理論 (2)ラズロのAフィールド (3)清水の遍在的生命 (4)中田の脳理論 (5)情報の重要性 / 3 情報について / 4 風土という知 / 5 日本の風土性 / 6 むすび

### 「存在の大いなる連鎖」のサステナビリティ

秋 山 知 宏

1 はじめに / 2 メタフィジックスから統合的なメタフィジックスへ (1)「存在の大いなる連鎖」 (2)「存在の大いなる連鎖」からポスト近代へのステップ / 3 「存在の大いなる連鎖」とサステナビリティ学 / 4 ポスト近代にふさわしい新しい知の探究 (1)「いのち」の深みへ (2)「こころ」の深みへ (3)「魂」と「霊」の深みへ / 5 統合的な世界観——降りてゆく生き方 / 6 統合学としてのサステナビリティ学

### 気候変動と自然・いのち、個人・社会

立 入 郁

1 はじめに / 2 自然への影響 (1)これまで (2)これから (3)人新世 (人類世) / 3 人間への影響 (1)IPCC・WG2のAR5から (2)「気候難民」 / 4 温暖化の緩和策と将来の社会 / 5 これからの個人 / 6 まとめ

### クルーグマン、クライン、キリスト、環境

ジェフリー・クラーク

### 農業生物学の再考——「〈いのち〉を活かしあう農業技術」としての獣害対策へ

関 陽 子

はじめに——「疎外の触媒」としての獣害 / 1 〈いのち〉の活かしあい——ニホンザルへの「集落ぐるみの追い払い対策」から / 2 「棲みわけ」と生物の主体性——今西錦司の生物哲学 / 3 『種の起源』の二つの「生存闘争」——垂直的進化と水平的進化 / 4 ダーウィンと今西錦司の娯主体性の進化論後——フジボとカゲロウの関係 / 5 農業生物学の再構築——娯共生的合理性後の科学

東洋大学TIEPh・茨城大学ICAS共催国際セミナー

「持続可能な発展と自然・人間——西洋と東洋の対話から新しいエコ・フィロソフィを求めて」開催の歩み